

西東京市パープルリボン・プロジェクト



～女性へのあらゆる暴力をなくすために～

パープルリボン・プロジェクトは、女性へのあらゆる暴力を根絶するために、1994年、アメリカ・ハンプシャー州の小さな街から興った国際的な草の根運動です。

紫色のシンボルカラーのリボンをモチーフにして、身につけたり手作りの作品に仕上げるなど、誰もがどこでも取り組むことのできる身近な運動として、今では世界の40以上の国々に広がっています。

男女平等推進センター パリテの取り組み

国際連合は11月25日を「女性に対する暴力撤廃国際日」に制定し、内閣府でも国際日前の2週間を「女性に対する暴力をなくす運動週間」と位置づけています。西東京市でもその期間、啓発の事業やパネル展示などを実施しています。

パリテが開館した2008年には、11月の運動週間事業の一環として、企画運営委員会の提案で、パープルリボン・プロジェクトの活動が開始しました。

20センチ四方の台布に、パープルリボンを自由にデザインした作品や、パープルリボンづくりを市民の皆さんに呼びかけ、集められた作品をボランティアの手で2枚のタペストリーに仕上げるところからのスタートでした。

第1回パリテまつりのタペストリー展示を皮切りに、公民館や図書館のご協力も得られて、毎年たくさんのお手づくり作品やパープルリボンが寄せられました。また布やリボンのご提供もいただき、現在タペストリーは7枚完成しています。

パリテの登録団体になりました

2011年秋には、パリテの主催で「手仕事でつながろう。女性への暴力反対の輪～かわいい動物の子どもたち～」の講座が3回シリーズで開催され、メンバーが助手として参加し、パープルリボン・プロジェクトの運動の趣旨や意義を伝えました。

裏方としてタペストリーづくりに参加してきたボランティアも4年の間に次第に膨らみ定着して、2012年3月には自主グループ「西東京市パープルリボン・プロジェクト」を正式に立ち上げ、パリテ登録団体に名を連ねることができました。

体制が整った今後は、タペストリーづくりの活動を続けながら、女性へのあらゆる暴力を根絶するさまざまな活動を積極的に継続させてゆきたいと考えています。

メンバーを募集しています。

運動に賛同いただきご参加を！

西東京市パープルリボン・プロジェクト

代表：齋藤三枝子 TEL:042-467-3173

第1回 パープルリボンカフェ オープン！

～不思議なポーチづくり～同時開催～

とき：2012年4月18日(水)
午前10時～午後4時のお好きな時間に

ばしょ：住吉会館1階パリテオープンスペース

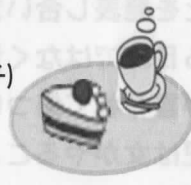
主催：西東京市パープルリボン・プロジェクト

協力：マライヤン(シンガポール料理)

お菓子工房マーブル(フランス菓子)

問い合わせ 男女平等推進センターパリテ

TEL:042-439-0075



不思議なポーチづくり

パープルリボンカフェでお茶のひと時を

- * ホットなコーヒーとココア
- * 手づくりのリッチなパウンドケーキとクッキー
- * シンガポールのエスニックなお菓子と飲み物

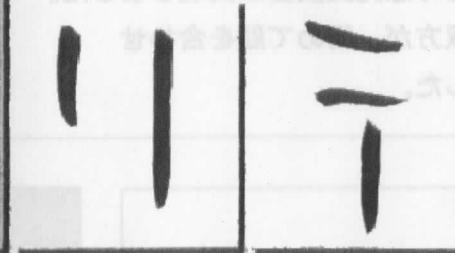
北欧からやってきた、不思議なポーチづくり

布のキットからお好きなものを選んで。

あら不思議！まるでマジック！

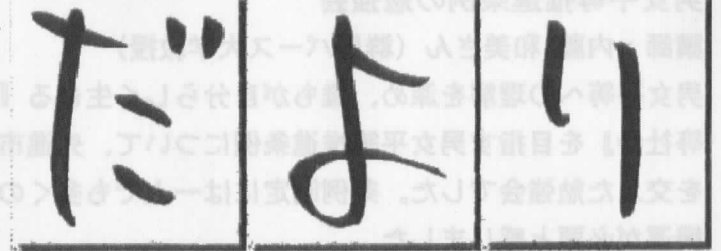
あっという間にできちゃった。

とってもかわいいポーチです。



No.7

西東京市男女平等推進センター



2012年3月30日発行

女性へのあらゆる暴力にNO！

西東京市 パープルリボン・プロジェクト

女性への暴力反対の意思をこめたりボンや、パッチワーク・アップリケなどたくさんの作品をお寄せいただき、2011年度も、1枚の美しいタペストリーが完成しました。

リボンのご提供など、暖かいお気持ちにも感謝いたします。



西東京市 パープルリボン・プロジェクト

P1. 平成23年度の委員会活動報告

P2. 就労支援講座 カラーコーディネート～似合うカラーで自分磨き～
基礎講座 パパが学ぶ被災地の子どもの育ち支援 ～そして地域、家族のこと～
共通講座 夫婦のコミュニケーション講座

P3. パリテ登録団体紹介
第1回 パープルリボンカフェ オープン！

2012年3月30日発行

発行 西東京市生活文化スポーツ部協働コミュニティ課

企画・編集 男女平等推進センター パリテ企画運営委員会

編集担当 加藤 真理 鶴崎 紀子 松本 和子 本橋 里実

〒202-0005 西東京市住吉町6-15-6 住吉会館ルピナス内 ☎042-439-0075 FAX 042-422-5375(共通)